

「木のまち」文化を次世代へ、産学連携による木工プロダクトを開発  
～1月29日「はつかいち異業種交流会 2026」で商品発表・販売開始～

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）環境学部 建築デザイン学科・森田ゼミは、本学と包括的連携協定を締結している廿日市市および、同市内に事業所を置く木工製品製造事業者9社で構成される「はつかいち木工研究会」と連携し、2025年6月より廿日市市の地域価値を形にした新たな木工プロダクトの開発に取り組んでいます。

本プロジェクトでは、学生が企画立案からデザイン、試作、商品化に至るまでを主体的に担い、大学内において幾度も試作と検討を重ねてきました。開発されたプロダクトは、廿日市市の地域資源や木工文化に、学生ならではの柔軟な発想やデジタル加工技術を融合させたものです。関係者との協議を経て、2026年1月29日（木）の発売に向けたパッケージデザインや取扱説明書の作成など最終準備段階に入っています。同日に廿日市市内で開催される「はつかいち異業種交流会 2026」において商品発表会を行う予定です。

### ■背景

廿日市市は、豊かな森林資源と木工文化を有し、「木のまち」として知られています。一方で、地域産業の魅力をどのように国内外へ発信していくかが課題となっています。広島工業大学は、廿日市市と2012年に包括的連携協定を締結し、教育・研究活動を通じた地域活性化に継続的に取り組んできました。

### ■目的

本プロジェクトは、「木のまち はつかいち」として培われてきた地域資源や木工文化、木材利用の魅力を、プロダクト開発を通じて新たな地域価値として発信することを目的としています。あわせて、学生が実社会と関わりながら商品開発に取り組むことで、実践的なデザイン力や課題解決力を育成することを狙いとしています。

### ■研究の概要

プロジェクト名： 廿日市市の地域価値を発信する木工プロダクト開発（参考：次ページ【図1】）

連携先： 廿日市市、はつかいち木工研究会

参画： 広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科・木材利用研究室（森田ゼミ）

内容： 主にインバウンド向け土産物（木工プロダクト）の企画・デザイン・試作・商品化

商品発表日： 2026年1月29日（木）13:00～16:10

発表場所： はつかいち異業種交流会 2026（廿日市市商工保健会館 1階多目的ホール）

※広島工業大学環境学部建築デザイン学科 森田秀樹教授の講演内にて発表予定

販売開始： 同日より

### ■学生コメント

環境学部 建築デザイン学科 3年次生 あおばら 青原 ころろ（左） / こいずみ ひろと 小泉 優斗（右）

2025年6月に始まった本プロジェクトでは、デザイン力を生かしてアイデアを練り、試作を重ねてきました。商品化には品質だけでなくコスト意識も求められ、試行錯誤の連続でしたが、はつかいち木工研究会の皆様と共に形にすることができました。

廿日市市のPRを目的に、地域材や伝統、歴史を調査し、大学で学ぶデジタル技術を活用して、幅広い世代に親しまれるデザインをめざしました。本プロジェクトは、商品開発の本質を学ぶとともに、自身の成長を実感できる貴重な経験となりました。



# はつかいち木工研究会プロジェクト

広島工業大学 建築デザイン学科 木材利用研究室（森田ゼミ）

## 01 ゼミ生によるデザイン

約40のデザインをKJ法で整理し、6つのアイデアを選出しました。



## 02 はつかいち木工研究会、廿日市市役所との打合せ

上記の6案を中心にデザイン案を関係者と協議し、廿日市らしさ、生産性などを考慮して、以下の4案に絞り込みました。けん玉の箸置きは常藤家具製作所で、他は広島工業大学で試作を進めることに決定しました。



## 03 試作とブラッシュアップ

夏以降試作を重ね、市販化に向けて完成度を高めていきました。手工具とデジタル機器（CNCルーター、レーザー加工機）の両方を活用し、若い世代のひらめきを高度な技能・技術で実現したプロダクトです。



### ■取材について

1月29日（木）16：10～17：00の間、教員および学生へのインタビュー取材が可能です。取材をご希望の方は、1月28日（水）17：00までに、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

内容に関する各種お問合せ	TEL：082-921-9134（直通） 担当：環境学部 建築デザイン学科 教授 森田 秀樹	E-mail：h.morita.dk@it-hiroshima.ac.jp
取材に関する各種お問合せ （取材の申し込み先）	TEL：082-921-3128（直通） 担当：広報部 石田 知世	FAX：082-921-8946 E-mail：kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp